

負担率は提案年数によって異なります。

1年目：100%（上限200万円）

2年目：90%（上限180万円）

3年目：80%（上限160万円）

収支決算書

(収入の部)

収支予算書と同様に記載

(支出の部)の支援対象経費の小計

(a)に負担率を乗じた額

※協定書記載の負担金額が上限

項目	予算額 (ア)	決算額 (イ)	増減 (イ)-(ア)	摘要
市負担金(A)	221,000	221,000	0	
収入事業	〇〇団体負担金	30,000	50,000	20,000
	小計(B)	30,000	50,000	20,000
団体負担金等(C)	68,400	58,700	△9,700	
合計(D)=(A)+(B)+(C)	319,400	329,700	10,300	

(支出の部)

主な内訳を記載

区分	項目	予算額 (ア)	決算額 (イ)	増減 (イ)-(ア)	摘要
支援対象経費	報償費	90,000	90,000	0	ワークショップ講師謝礼@50,000円(3時間)×3回 ※1時間10,000円上限
	人件費	15,000	15,000	0	@500円×10人×3回
	消耗品費	20,000	25,500	5,500	資料用コピー用紙20,000円、ワークショップ用消耗品5,500円
	印刷製本費	60,000	50,500	△9,500	ちらし@3円×6,000部=18,000円 ポスター@35円×500部=17,500円 資料@50円×100部×3回=15,000円
	通信運搬費	36,000	50,000	14,000	通知郵送料@120円×100人×3回ほか
	食糧費	0	300	300	講師用お茶@100円×3回
	小計(a)	221,000	231,300	10,300	
支援対象外経費	報償費 (団体負担)	60,000	60,000	0	ワークショップ講師謝礼150,000円-90,000円
	食糧費	30,000	30,000	0	参加者用飲物代@100円×100人×3回
	保険料	8,400	8,400	0	@28円×100人×3回
	小計(b)	98,400	98,400	0	
合計(c)=(a)+(b)	319,400	329,700	10,300		

※ 収入合計(D)と支出合計(c)は、一致すること。